



《生き物》2005年 / 加藤邦彦 / ラブラドル石彫



《生き物》2009年 / 加藤邦彦 / ラブラドル石彫

加藤邦彦・温子 移住帰国展



《桜》加藤温子 / 石版画



《稲光》2012年 / 加藤温子 / 油彩



《セネフェルダーに寄せて》
加藤温子 / 石版画

2018年 **10月27日(土) → 12月2日(日)**

開館時間 | 9:00~17:00 <最終入館は16:30まで>

休館日 | 毎週火曜日、11月5日(月)、26日(月)

入館料 | 一般500円(400円) / 小中学生150円(100円) ※ () 内は割引料金

会場 | 信州高遠美術館

展覧会関連 イベント 石版画ワークショップ

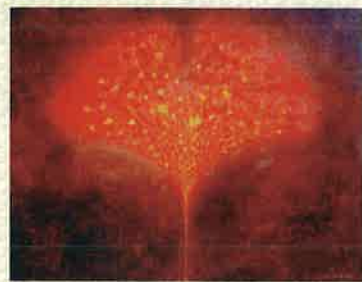
ご参加希望の方は①お名前、②ご住所、③お電話番号を添えて信州高遠美術館へお申し込みください。

石版画摺師であり、ドイツ在住のクラウス・バンネヴィッツ氏を迎え、伝統的な石版画の技術を体験します。午前中に石に作品を描き、午後にはプレス機で刷り上げます。見学のみの方も、ぜひご参加ください。

| 日時 | ①11月11日(日) 9:00~ / ②11月18日(日) 9:00~ | 対象 | 高校生以上 | 参加費 | 2,500円 / 1人
| 持ち物 | 作品の下絵(はがきサイズ)・昼食・エプロン・汚れてもいい服装 | 定員 | ①、②各回4人ずつ
| 場所 | 信州高遠美術館・加藤氏アトリエ (※集合は信州高遠美術館へさせていただきます)

当日の日程
9:00~12:00 | 石灰石に下絵を描く(信州高遠美術館ホールにて)
12:00~12:45 | 昼食(美術館で昼食をとるスペースを提供します)
12:50~13:00 | 加藤氏アトリエへ移動(美術館の車で送迎します。12:50に玄関へお集まりください)
13:00~16:00 | 版をプレス機で刷り、作品を仕上げる(加藤氏アトリエにて)

加藤邦彦・温子 移住帰国展



①《生き物》加藤邦彦/2016年/榆木彫 ②《生き物》加藤邦彦/2010年
 ③《生き物》加藤邦彦/2017年/榆木彫 ④《手紙》加藤温子/油彩/2部作
 ⑤《詩的な風景》加藤温子/油彩 ⑥《夏の便り》加藤温子/油彩

この度信州高遠美術館ではドイツで活躍し、現在伊那市で制作を続ける彫刻家、加藤邦彦氏と画家、加藤温子氏夫妻の作品展を開催いたします。お二人は1976年に渡独、ニュルンベルク美術大学を修了後、ドイツに留まって、彫刻家、画家として活躍してきました。

邦彦氏は石彫と木彫を専門とし、自然をテーマに「生き物・シリーズ」などの立体作品を制作しています。自然のなかに存在する“形”から出発し、心の中に湧いてくる感動を表現しています。

温子氏もまた自然をテーマとして、自然界に存在する様々なフォルムから、象徴的な絵画作品を生み出します。1986年にドイツの友人から送られた1鉢の実生銀杏をきっかけとして銀杏に興味を持ち、「銀杏作品シリーズ」の制作をはじめました。

1980年代以降、お二人は欧州各地で個展を開き、日本においても巡回展を行ってきました。

この度、加藤氏ご夫妻は長年滞在したドイツを離れ、縁あって昨年伊那市笠原に移住されました。今回さわやかな秋の季節、温子氏は油彩画やドイツ産ジュラ紀の石灰岩で制作した石版画を、邦彦氏は石彫・木彫作品を美術館の内外に展示いたします。

加藤 邦彦 —1945年9月21日 愛知県小牧市生まれ

愛知県立芸術大学彫刻科(山本豊市・野々村一男教室)卒業。同大学院修了。

1976-83年 | 妻・温子と渡独し、共にドイツ語圏で最も古いバイエルン州立ニュルンベルク美術アカデミーに入学、彫刻科のヴィルヘルム・ウーリック教授に師事。
同大学のマイスター・コース修了までニュルンベルク市に在住。

1983年 | ニュルンベルク市から隣接のフルト市へ移転。
アトリエを持ち、2017年秋までドイツに在住。

2017年 | 秋にドイツから長野県伊那市美篁へ移住、現在に至る。

【受賞・表彰】

1977,1978,1979年ニュルンベルク美術大学アカデミー賞、1993年フルト市文化賞、1999,2010年ヴェルティンゲン美術賞と市長賞、1999年ニュルンベルク新聞社主催美術賞展功労賞、2009年日本国外務大臣表彰、2015年ヨーロッパ首都圏ニュルンベルク・フルト・エアランゲンの芸術家表彰、2017年バーデンヴュルテンベルグ州ラウダケーンクスホーフェン・芸術の輪から銀メダル表彰

加藤 温子 —1950年7月21日 愛知県豊明市生まれ

1970-76年 | 愛知県立芸術大学油画科、伊藤廉教授に師事、卒業。同大学院修了。

1976-83年 | ニュルンベルク美術アカデミー美術学部絵画科入学。
ギュンター・フォーグルサマー教授に師事。
同大学のマイスター・コース修了。

1983年 | ニュルンベルク市から隣接フルト市へ移転。
アトリエを持ち、画家・版画家とし創作活動が続ける。
2017年秋までドイツに在住。

2017年 | 秋にドイツから長野県伊那市美篁へ移住。

【受賞・表彰】

1978,1979年ニュルンベルク美術アカデミーからアカデミー賞、1988年第55回アメリカ合衆国ワシントン国際美術展、国際賞1位、1993年フルト市文化賞、1994年ソルンホーフェン国際石版画賞1位、2009年日本国外務大臣表彰、2015年ヨーロッパ首都圏ニュルンベルク・フルト・エアランゲンの芸術家表彰、2017年バーデンヴュルテンベルグ州ラウダ・ケーンクスホーフェン・芸術の輪から銀メダル表彰

加藤邦彦・温子サイト→ <http://www.bioart.justhpbs.jp>

本チラシ1枚につきお二人様の入館料を100円ずつ割引いたします。

信州高遠美術館

〒396-0213長野県伊那市高遠町東高遠400
 TEL:0265-94-3666 FAX:0265-94-3936
 MAIL:t-bjk@inacity.jp <http://inacity.jp/>

主催：伊那市・伊那市教育委員会・信州高遠美術館

後援：長野県、信濃毎日新聞社、中日新聞社、読売新聞長野支局、朝日新聞長野支局、毎日新聞長野支局、日本経済新聞社長野支局、産経新聞長野支局、時事通信社長野支局、共同通信社長野支局、市民新聞グループ(7紙)、アド・コマーシャル、アド・プランニング、(公財)信毎文化事業財団、(公財)八十二文化財団、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、長野日報社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合、伊那美術協会、信州美術会伊那支部、伊那市民美術会、伊那市観光協会

交通のご案内



【中央自動車道】— 伊那I.C.から国道361号を經由30分。諏訪I.C.から国道152号を經由50分。
 【JR飯田線】— 伊那市駅・伊那北駅から高遠線JRバス25分で高遠駅。高遠駅から徒歩25分。

アクセスマップ



↑美術館サイトURL



↑交通のご案内